

今後の自給飼料増産をどうするか

出席者

岩井敏一氏 信藤良之氏
和氣主計氏 牧野勉氏

(司会) 栗山光春氏

その

五・六月号よりのつづき
岩井・・県営草地の問題がでましたか、確かに十二分な活用がなされていない地区もありますのでその活用について私は飼料公社(仮称)のようなものを作つてはどうかと考えた事もありますが、粗飼料の栽培、収穫、運搬、調製、流通、利用等非常に複雑な問題がありますので、もう少し時間をかけて充分な検討をしなければならないと思います。

流通の問題では、狭い地域としては、飼料作物生産利用合理化事業で、気密サッコ等を導入して行なわれていますし、多少大きな範囲では、粗飼料流通モデル事業で昨年から八東農協が乾草の調製をやつており、さらに大きな範囲としては、ワラ等のウェーファー化が考えられると思いまます。この場合、固定式よりは、移動式の機械の方が効率的に利用できると思いますし、粗ワラの合理的利用の面からもウェーファー化は是非実現させたいですね。

◎イナワラの利用◎

牧野・・ワラの問題はふん尿問題に結びつくと思います。現在一般農家では、稻ワラをそのまま水田に還元していますが、いまさら、コンバイン、カッタ方式を止めろと言つても無理な話で、なんと

か小型のベーラーで水田のワラを梱包し、それを畜産農家が飼料と敷ワラに利用し、堆キュウ肥を提供農家に返すことで、飼

してのですが、それから考へると、生ワラの飼料化ということになれば技術的にも経営的にも向上するでしょうね。

牧野・・稻ワラは日本の唯一の豊かな資源ですからね。

信藤・・それが隣同志でといった形で進んできた訳ですけど、米の収穫体系が変つてきて、それさえも難かしくなつてしましましたからね。

◎イナ転事業にかわるものは◎

栗山・・今年度で稻作転換事業が終るのですが：

牧野・・この事業があつたために、畜産農家には、かなりの自給飼料増産がなされた訳ですので、来年度からの表作の飼料生産がどうなるのか心配していま

すし、日本の場合根本的に総合農政のなかで稻作と、飼料作が表作にあるべきではないかと思います。

岩井・・我々もその問題については、畜産作が稻作にもどることを心配してゐるのですが、国に対しても、それにかわる事業を引き続き何かの形で打出していただきたいと思っておりますし、そうしない

ところまで上がつて來ている自給率がまた落ちてしまう、そうなると今度はなかなか立ち直りにくいと思います。

信藤・・やはり稻転にかわるべきものが必要ですが、問題はその予算、つまり稻転で支払われただけの金が動かせるど

うかだと思います。

牧野・・米が現在たりないのならいたしかたないと思いますが、とかくあまりがんばりますが、それについての施

策が飼料増産の施策と表裏一体であるべ

りませんが、日本農政を考

ましめたからね。

◎飼料生産組織化への道◎

栗山・・畜産農家だけではこれからの畜

産は伸びてゆかないでの、今後は農協等

が媒介役となつての飼料生産の受託が

問題になつてきますが、それについての

機械化、土地の基盤整備、集積などにつ

いてはいかがですか。

和氣・・牧野さんから、自給飼料の増産

は、労働力、土地基盤の面から、対処し

されないと現実の話がありましたが、そ

のへんをほぐしてゆかないと、増産増産

と言つても「言うは易し、行なうは難し」

になると思います。そのために行政施策

が、県下には、まだまだそのようなベ

ルーが使用出来ない場所が多いので、開発されつつある小型のベーラー、それに

えば、麦作にしましても収穫の後の麦ワ

ラはすべてベーラーで梱包され利用され

ていますし、そのような形が遅れながら

ももう少し時間をかけて充分な検討をしなければならないと思います。

流通の問題では、狭い地域としては、

飼料作物生産利用合理化事業で、気密サ

ッコ等を導入して行なわれていますし、

多少大きな範囲では、粗飼料流通モデル

事業で昨年から八東農協が乾草の調製を

やつており、さらに大きな範囲としては、

ワラ等のウェーファー化が考えられると思

います。この場合、固定式よりは、移動

式の機械の方が効率的に利用できると思

いますし、粗ワラの合理的利用の面から

もウェーファー化は是非実現させたいですね。

岩井・・稻ワラについて各地方振興局を

通じて県内の生産量、耕種農家の販売

可能量、畜産農家の使用希望量等を調べ

みてたのですが、その結果としては、生

産量は約二九万トンで、耕種農家の販売

可能量と畜産農家の希望量の差は約一万

トンほど販売量が多いので、だいたいワ

ラについては県内自給が可能であると言

えますから、なんとか今年のワラぐらい

からは、農協なり、それにかわる組織が

間にはりり、足がかりを作つてもらいたい

と思います。梱包利用では、奈義町農

協が昨年ふん尿処理施設を作り、今年は、

緊急粗飼料増産総合対策事業でベーラー

等をいれワラの効率利用とふん尿処理を

組みあわせて考えていますし、今後県内

にこういった組織化が必要でしそうね。

協が昨年ふん尿処理施設を作り、今年は、

緊急粗飼料増産総合対策事業でベーラー

等をいれワラの効率利用とふん尿処理を

組みあわせて考えていますし、今後県内

にこういった組織化が必要でしそうね。

岩井・・そのことにつきましては、緊急

粗飼料総合対策事業の、ワラ等未利用資

源の収穫貯蔵加工事業があつてはなり、各

地域に応じた形を皆さんで考え出しても

来たものは生ワラで飼料価値も高いわけ

の対象にする、そうすればコンバインワラ

も日本も普及すべきであると感じました。

岩井・・稻ワラについて各地方振興局を

通じて県内の生産量、耕種農家の販売

可能量、畜産農家の使用希望量等を調べ

みてたのですが、その結果としては、生

産量は約二九万トンで、耕種農家の販売

可能量と畜産農家の希望量の差は約一万

トンほど販売量が多いので、だいたいワ

ラについては県内自給が可能であると言

えますから、なんとか今年のワラぐらい

からは、農協なり、それにかわる組織が

間にはりり、足がかりを作つてもらいたい

と思います。梱包利用では、奈義町農

協が昨年ふん尿処理施設を作り、今年は、

緊急粗飼料増産総合対策事業でベーラー

等をいれワラの効率利用とふん尿処理を

組みあわせて考えていますし、今後県内

にこういった組織化が必要でしそうね。

岩井・・そのことにつきましては、緊急

粗飼料総合対策事業の、ワラ等未利用資

源の収穫貯蔵加工事業があつてはなり、各

地域に応じた形を皆さんで考え出しても

来たものは生ワラで飼料価値も高いわけ

の対象にする、そうすればコンバインワラ

も日本も普及すべきであると感じました。

岩井・・稻ワラについて各地方振興局を

通じて県内の生産量、耕種農家の販売

可能量、畜産農家の使用希望量等を調べ

みてたのですが、その結果としては、生

産量は約二九万トンで、耕種農家の販売

可能量と畜産農家の希望量の差は約一万

トンほど販売量が多いので、だいたいワ

ラについては県内自給が可能であると言

えますから、なんとか今年のワラぐらい

からは、農協なり、それにかわる組織が

間にはりり、足がかりを作つてもらいたい

と思います。梱包利用では、奈義町農

協が昨年ふん尿処理施設を作り、今年は、

緊急粗飼料増産総合対策事業でベーラー

等をいれワラの効率利用とふん尿処理を

組みあわせて考えていますし、今後県内

にこういった組織化が必要でしそうね。

岩井・・そのことにつきましては、緊急

粗飼料総合対策事業の、ワラ等未利用資

源の収穫貯蔵加工事業があつてはなり、各

地域に応じた形を皆さんで考え出しても

来たものは生ワラで飼料価値も高いわけ

の対象にする、そうすればコンバインワラ

も日本も普及すべきであると感じました。

岩井・・稻ワラについて各地方振興局を

通じて県内の生産量、耕種農家の販売

可能量、畜産農家の使用希望量等を調べ

みてたのですが、その結果としては、生

産量は約二九万トンで、耕種農家の販売

可能量と畜産農家の希望量の差は約一万

トンほど販売量が多いので、だいたいワ

ラについては県内自給が可能であると言

えますから、なんとか今年のワラぐらい

からは、農協なり、それにかわる組織が

間にはりり、足がかりを作つてもらいたい

と思います。梱包利用では、奈義町農

協が昨年ふん尿処理施設を作り、今年は、

緊急粗飼料増産総合対策事業でベーラー

等をいれワラの効率利用とふん尿処理を

組みあわせて考えていますし、今後県内

にこういった組織化が必要でしそうね。

岩井・・そのことにつきましては、緊急

粗飼料総合対策事業の、ワラ等未利用資

源の収穫貯蔵加工事業があつてはなり、各

地域に応じた形を皆さんで考え出しても

来たものは生ワラで飼料価値も高いわけ

の対象にする、そうすればコンバインワラ

も日本も普及すべきであると感じました。

岩井・・稻ワラについて各地方振興局を

通じて県内の生産量、耕種農家の販売

可能量、畜産農家の使用希望量等を調べ

みてたのですが、その結果としては、生

産量は約二九万トンで、耕種農家の販売

可能量と畜産農家の希望量の差は約一万

トンほど販売量が多いので、だいたいワ

ラについては県内自給が可能であると言

えますから、なんとか今年のワラぐらい

からは、農協なり、それにかわる組織が

間にはりり、足がかりを作つてもらいたい

と思います。梱包利用では、奈義町農

協が昨年ふん尿処理施設を作り、今年は、

緊急粗飼料増産総合対策事業でベーラー

等をいれワラの効率利用とふん尿処理を

組みあわせて考えていますし、今後県内

にこういった組織化が必要でしそうね。

岩井・・そのことにつきましては、緊急

粗飼料総合対策事業の、ワラ等未利用資

源の収穫貯蔵加工事業があつてはなり、各

地域に応じた形を皆さんで考え出しても

来たものは生ワラで飼料価値も高いわけ

の対象にする、そうすればコンバインワラ

B 水田裏生産集団

育成促進事業に係る場合

受託による場合は当該年度における飼料作物作付面積は、作業受託の場合にはおおむね八ヘクタール以上で、かつそのうち水田裏に係る期間借地、その他の土地集積面積が、事業開始の前年度よりおおむね三ヘクタール以上増加していること。

土地集積による場合は、おおむね一〇ヘクタール以上でかつそのうち水田裏に係る期間借地、その他の土地集積面積が、事業開始の前年度よりおおむね五ヘクタール以上増加していること。

C 奨励金

生産集団ごとに増加作付面積に応じ一〇アール当り

水田裏生産集団ごとの集団育成補助金の額の算定方法は、毎年度定められるこ

とになっています。

D 予算額

三三、六七三千円

D 採択基準及び助成内容

一集団一ヘクタール以上の作付け増加を実施した際、種子購入費、借地耕耘料に対し一すり以内の助成

レングの種子採取に必要な刈取り、収

穂、調製に必要な機械施設に対しても助成

増加作付推進費 定額

E 予算額

一一、四二五千円 以下次号

三、レンゲ・青刈麦作付促進事業

本県の水田面積は約七四、〇〇〇ヘクタールありますが、このうち機械化ができない、しかも採算がとれるような水田裏作が可能な農地で利用されていない耕地は約三〇、〇〇〇ヘクタールと見込まれています。これら未活用地の利用促進を図るため、「水田裏不作付地解消運動」を昭和四九年度より全国的に展開していますが、岡山県においても、麦、飼料作物、野菜、い草等を水田裏に積極的に作付して、冬の水田を緑に変える「冬期グリーン作戦」を開催することにしています。

この「冬期グリーン作戦」の一環として從来から一般に作付けをしているイタリ

アンライグラスでは、近年稻作經營にお

ける田植機の普及や直播き等により稻作が早期化した影響を受け、栽培期間の長いイタリアンライグラスの栽培は稻作の作期との競合や多量の残根による根腐れ等のため、その作付けが次第に敬遠されないレンゲ、青刈麦等の作付けを促進し、自給飼料の増産による畜産経営の安定を事業であります。

(一) 事業内容

- (1) 増加作付の推進指導
- (2) 作付作物の採種
- (3) 期間借地の促進

別表(2)

2. 粗飼料等増産基盤整備事業

事業種目	事業内容	事業の規模等
1.飼料畠牧草地造成事業	障害物の除去、起土、整地、土壤改良資材及び高収量品種の導入	造成面積は、1事業主体でおおむね2ha以上、10ha未満1団地の面積0.1ha以上とする。
2.既耕地整備事業	起伏修正、起土、整地、土壤改良資材及び高収量品種の導入	(1)既耕地の整備にあつては牧草地以外の受益面積は、1事業主体でおおむね2ha以上10ha未満とする。 (2)牧草地の整備にあつては、国の補助事業により造成播種された草地で6年以上経過したもので、かつ5ha以上とする。ただし任意団体等は事業主体としない。
3.農道、牧道整備事業	農道及び牧道の新設及び改良	1路線の受益面積はおおむね5ha以上10ha未満で、延長はおおむね500m以内とする。
4.ふん尿かんがい及び排水施設整備事業	ふん尿かんがい施設及び排水施設の整備	受益面積は、1事業主体でおおむね5ha以上30ha未満とする。
5.特認事業	上記の事業に準ずるもので、地方農政局長が特に必要と認めるもの	

別表(1)

I 粗飼料等生産利用合理化事業

事業種目	事業内容	事業の規模等
1.生産利用合理化施設設置事業	飼料作物、飼料用穀物の栽培管理、収穫、運搬、調製及び貯蔵のため必要な機械施設(農耕等附帯施設等を含む。)の整備及びこれら施設用地の造成	(1)飼料作物作付面積おおむね20ha以上 (2)飼料用穀物作付面積おおむね10ha以上
2.流通合理化施設設置事業	流通粗飼料の栽培、管理、収穫、調製及び貯蔵のため必要な機械施設及びこれらの施設用地の造成	作付対象面積 (1)キューブ型おおむね100ha以上 (2)サイロ型おおむね30ha以上 (3)梱包型おおむね30ha以上
3.未利用資源利用合理化施設設置事業	稻わら等未利用資源の集荷加工製造及び貯蔵のため必要な機械施設及びこれらの施設用地の造成	同上
4.特認事業	上記の事業に準ずるもので、地方農政局長が特に必要と認めるもの	

牛肉生産とサシ

林正夫

問題点をさぐる

はじめに

畜産物価格安定法一部改正法により牛肉も五月一日から指定食肉になった。これによると、その対象となるのは去勢和牛、なわち黒毛、褐毛、無角、日本短角の各和種とその他の去勢牛、なわちいわゆる乳牛、外国肉専用種、これらの交雑種等の二つに分けて、いずれも去勢牛枝肉であって、規格の「中」と決定されている。

規格の等級決定は、枝肉の半丸最小重量、外観(均称、肉づき、脂肪付着、仕上げの四項目)および肉質(肉の色沢、肉のきめとしまり、脂肪の色沢と質、脂肪交雑の四項目)の三つについて行なわれるが、このとき脂肪交雑(サシ)の判定が等級決定上ひじょうに大きなウエイトをもつていて、実際格付けの場で枝肉重量や外観の各項目では「極上」であつて、肉質のうちとくにサシがプラス一であるから「中」の等級に決定されるもの

が和牛枝肉ではかなり見受けられる。また、乳牛去勢枝肉ではサシがプラス一であるかないかの境目のものが多く、そのため一見ほとんど同じ位のものが「中」であつたり「並」になつたりして、規格等級の境目がきわめて微妙である。

さて、きょうはサシについていろいろ考えて見ることにより、肉牛を生産する側から検討すべき問題点を提起したいと思う。

◎ サシとは何か

はじめに、サシとは何か、ということから考えたい。サシは筋肉内脂肪である。すなわち、背最長筋(ロース芯)に例をとれば、この筋肉の横断面に線状または点状に見える脂肪が赤肉の中に霜降り状に見えるものであるが、これらは筋束である間にある結合組織に脂肪が蓄積されたものが肉眼でサシとして認められるものである。わが国ではこのサシが多ければ多いほど上質の牛肉であるとの評価によ参考にされている。

◎ サシと価格

東京の芝浦市場などを見ると、サシが京都大学並河教授によると、サシは肉の色沢をひき立て、肉のじまりをよくし、見るからにうまそな「みば」のよい肉である。そこで、とくに和牛ではサシが価格決定に大きく取扱われている。ここでは冷と体で第五六肋骨間を開切してせり売していくが、サシがほとんど価格をきめると言ふべきで、その他の要因としてはロース

筋の大きさ、筋肉内脂肪(ロース切斷面)の大きさ、筋肉内脂肪(ロース切斷面)の大きさ、筋肉内脂肪(ロース切斷面)の量が

◎ サシはなぜこんなに評価されるのか

小売商はサシを重視し、卸売業者はサシのよい肉は見た眼にうまうことである。食肉の卸小売業者によると、サシのよい肉は見た眼にうまうこと、これがサシのよい肉と評価される。そうだといふことと、店頭にあって長く変色しないし、目減りしないという評價がなされている。

このようない評価や価格形成をされるサシについて、生産者は市場で高く売れる肉牛をつくるためにサシを追究することに専念する余り、肥育経営の範囲をこえた肉牛生産をしていないか。また、消費者はうまそなサシのよい肉を求めることが多いのではないか。「今

第6回全日本ホルスタイン共進会

第1期出品牛決まる

岡山県醸連

○会期の目標に沿つて改
都道府県代表のホルス
集め、わが国の改良水
によつて、改良増殖の発
展をはかるため開催さ

◎ 全共の歴史

日本ホルスタイン登録協会主催により昭和二十六年三月神奈川県平塚市において陛下の御臨席をいただき、第一回全共が開催されました。以来五年毎に静岡市、松本市、福島市、豊橋市と開催され、本県からもそれぞれ代表牛が参加してかなりの成績を納めてまいりました。

◎ 目的

国の目標に沿つて改良を進めている各都道府県代表のホルスタイン牛を一堂に集め、わが国の改良水準を広く示すことによって、改良増殖の推進と酪農業の伸展をはかるため開催されております。

◎ 会期

前回から長期な会期となりましたが、今回も昭和五十年四月一日から同年一ヶ月三日までとして、その会期を分けて第一期（五〇・四・一～五〇・八・三一）

◎全共の歴史

多い（歩留りの高い）、やわらかくてちまい肉がある、こんな肉を追求すべきだなどの言も関係者からきかされる。たゞにこれらは肯定すべきであつて、牛肉の生産から消費までが早くこのような方向に統一されることが望まれる。

サシと味

べきだ」とか、「サシがなくとも赤肉の

和牛去勢牛若令肥育の過程で体脂肪の蓄積について研究した中國農試畜産部の成績によれば、皮下脂肪が沈着しだすのが十一～十二カ月令からで、サシがはいりだす月令が十四～十五カ月、能力のよい牛は十六カ月で肉質はできるが、十八カ月までサシは急速によくなり、その後二十四カ月まで徐々にサシがよくなつたといふ。肉質評価に関与する肉の色沢やきめしまりはどうか。肉の色は十六カ月や十八カ月令では淡く、しまりも乏しい嫌いはあるが、二十四カ月をこえると肉色はもう改善されないで、徐々に悪い方になつて行き、きめは間違いなくあらくなつて行く。従つて、二十四カ月を過ぎるとサシはよくはいるが、その他の肉質評価の要素となる肉色とかきめは悪くなる。外国のヘラフォード種の成績に次のようなのが見当る。すなわち、年令が多くなるほど肉は硬くなるが、十八カ月のものと二十四カ月のとの差が最も大きい、サシは十八カ月のものではやわらかさに関係がなく、年令の大きいものはサシがやわらかさに関与することが大きかったという。

卷之三

多い（歩留りの高い）、やわらかくてうまい肉がある、こんな肉を追求すべきだなどの一言も関係者からきかれる。たしかにこれらは肯定すべきであって、牛肉の生産から消費までが早くこのような方向に統一されることが望まれる。

◎ サシと味

サンは肉の味をよくする、と信じられているが、これについて少し考えてみたい。わが国では牛肉の調理方法はおもにスキヤキのように薄切りにして湿熱利用であり、欧米のような厚切りのものを乾熱で調理するステーキなどと趣を異にし、消費量も格段に少ないので、外国の牛肉の評価方法と同日には論じられないが、カナダのものを例にとれば、肉の味を決める要素を重要なものから順にあげて、やわらかさ、多汁性、香味、外観（みば）としている。やわらかさに対しても、牛の性よりもむしろ年令が大きく影響し、もちろん若い方がよい。ところが香味については十八ヵ月未満の月令のものは、これに乏しいといわれている。サシがこちらにどの位関与しているか、の文献を読み直すと、ついついもどかしくなってしまう。

和牛去勢牛若令肥育の過程で体脂肪の蓄積について研究した中国農試畜産部の成績によれば、皮下脂肪が沈着しだすのが十一～十二ヵ月令からで、サシがはじりだす月令が十四～十五ヵ月、能力の上昇は十六ヵ月で肉質はできるが、十八ヵ月までサンは急速によくなり、その後という。肉質評価に関与する肉の色沢やきめしまりはどうか。肉の色は十六ヵ月や十八ヵ月令では淡く、しまりも乏しい嫌いはあるが、二十四ヵ月をこえると肉色はもう改善されないで、徐々に悪い方になつて行き、きめは間違いなくあらくなつて行く。従つて、二十四ヵ月を過ぎるとサンはよくはいるが、その他の肉質評価の要素となる肉色とかきめは悪くなる。外國のヘレフォード種の成績に次のようなのが見当る。すなわち、年令が多くなるほど肉は硬くなるが、十八ヵ月のものと二十四ヵ月のものとの差が最も大きくなる。サシは十八ヵ月のものではやわらかさに關係がなく、年令の大きいものではサシがやわらかさに関与することが大きかったという。

に対して、仕上げ月令を大きくし、体重を重くすることによって、サシを入れうとしても、エサはサシとしてではなく皮下脂肪等余分な脂肪となつて枝肉の価値をよくしない。現在枝肉市場で好まされる枝肉重量は三五〇キログラム位であるが、生体重にして五五〇キログラム位と思われる。一頭の牛から少しでも多くの枝肉を生産しようということも大切であるが、多くを輸入に依存している濃厚飼料を、飼料効率の悪い体重五〇〇キログラム以上の時期に、肉質改善にならないで余るの体脂肪をつけるようなむだづかいは十分に考えものだと思われる。東京芝浦で昭和四十九年四月調査した成績で、サンモント枝肉重量との相関は、和牛雌で〇・二同去勢で〇・三と低い数字で、枝肉重量と余り関係がないことが認められた。(ついて同調査で、枝肉重量と価格との相関は和牛雌で〇・二、同去勢で〇・一、極めて低い数字を示した。このことは枝肉重量三三〇～三五〇キログラム位が高く取引きされ、それ以下も以上も安価の傾向にあることをものがたるもので、四〇〇キログラムをこえるようになると、普通の場合価格は明らかに安くなるということを示している。

牛 の健康、 緑 の牧草は
タンカル で良い草を！

効果の早い タンカル肥料 持続性のある 土改1号、2号

足立石灰工業株式会社

岡山県新見市足立 TEL(086788)代表 | 番

○ 出品牛の選抜

○ 出品頭数

○ 津名港埋立地で開催す。

◎ 今後の指導

第一期出品牛および第二期出品牛に対しては、それぞれ個別に巡回して飼養管理技術指導および出品技術指導を引き続き実施してまいります。

◎ 代表牛の決定

第一期出品牛および第二期出品牛に対する指導を実施してまいります。そして、それぞれ個別に巡回して飼養管理技術指導および出品技術指導を引き続き実施してまいりました。



県および福島県（萬成会員を含む）の生産から消費までバイブルがよく通つてゐるのものでありますように、この意図であることをご賢察願いと存じます。

牛 の健康、 緑 の牧草は タンカル で良い草を！

第6回 全日本ホルスタイン共進会第1期出品牛名簿

番号	名	号	生年月日	登録番号	血統	所有者		产地	出品部別	所組合	属名
						住所	氏名				
1	キボーエン ウイルキエ ブロビン	49.9.30	2216232	ブロビン・マウンテン アイバントーブラッド ウイルキエ・ハイセン レイブン	39091 1125697	井原市大江町	山本 茂	本人	1	山 鹰	
2	リニー シレーベ スターライト	49.9.13	2212557	グリストル・シルバー アドミレーション リベースカイラーク フリニア	40804 1361952	芦田郡荒野町 薪森原	浦山秀夫	〃	1	ホクラク	
3	ダビッドソン ベット クリストン	49.9.8	2236524	ローマンデール カウト クリストン ダビッドソン オレーター インカ バーク	42412 594905	津山市院庄	秋田 博	〃	1	美 鹰	
4	ポンチャク コンテスター スカイラク	49.8.23	2202314	オーフ リンクス コンテスター ポンチャク オレーター オレーター	42080 1318725	久米郡久米町 中北下	森本 衛	〃	1	ホクラク	
5	マラソン ベッシー アイバントーブラッド	49.8.12	2229438	プロビン・マウンテン アイバントーブラッド マラソン・ベッシー スカイ テルスター	39091 1467874	岡山市今岡	児子良雄	北海道	1	一宮 農	
6	イーストランド スプリング アール アイバントーブラッド	49.6.22	2124718	アグロ エーカース シューブリーム スプリング アイバントーブラッド	43765 1119552	東片岡	成木八郎	〃	2	旭 鹰	
7	ラッギー コンテスター レークハースト ロー	49.6.10	2164225	ブレスティング オブ レークハースト ラッギー ターター ウォーカー	42135 1784468	真庭郡落合町 西河内	山名一郎	本人	2	ホクラク	
8	クaine プレステージ チャーマー エーカース	49.3.5	2164538	ブレスティング オブ レークハースト クaine ロイブルック デュート アップル	42135 1436785	芦田郡御所町 和田	平井亮祐	〃	2	〃	
9	ヘンドリク リーダー ビーマン マスター	49.2.10	2090704	ハイセン フィールド マスター ヘンドリク レークハースト ドト	33985 1517027	広内 素	〃	3	〃		
10	ルーデスター ロック タイバク	48.9.19	2009469	セガデンラスト ロック マスター ルーデスター シューブリーム パター・ガール	42345 1688035	岡山市邑久郷	谷口若松	〃	4	旭 鹰	
11	ホクレン キャップ ブラッド コメット	48.8.5	2017036	ウッディーン ロックイン コメット ローヤル ブラッド キャップ ホクレン	42159 1040569	邑久郡邑久町 福谷	河崎恭一	北海道	5	〃	
12	ミー コンケスト シレーベ	48.2.12	1930185	ローマングル コンケスト バー アーラチエ メー ミー	38023 1373619	吉田郡御所町 薪森原	蒲山秀夫	〃	5	ホクラク	
13	ハジママー ヤン ドラ テルスター	46.6.30	1708099	ロイブルック テルスター ハジママー ヤン ドラ コンケスト	40971 1245172	真庭郡落合町 中	吉田和正	〃	7	〃	
14	ウイニー チルダ マトキャップ	46.4.26	1665404	カーネーション マトキャップ コンケスト レイブン ウイニー ブラッド シュータ	38779 1242876	津山市小原	矢内雅之	〃	7	〃	
15	デイクテーター・クラマー ルンド	45.4.28	1459570	バジママー キャビテン デイクテーター エス ルンド バーク	40616 1117980	備前市新生	松田 勉	本人	8	旭 鹰	
16	グレン ウォーカー ミドリ	45.2.5	1413291	スプリング フーム ストーニー チルダ ウォーカー ミドリ	41589 416223	真庭郡上村 東芦部	亀山 裕	北海道	8	ホクラク	

分より津山市一方、経済連津山家畜市場において開催いたします。
本選抜会には審査顧問として家畜改良事業団理事、舛田精一博士を招いております。

本県の期待を担つた代表牛が本番においてその真価を十二分に發揮するためにも、皆様方の絶大なるご声援を賜りたく多数ご参観下さるよう案内申し上げる次第です。

養鶏試験場のページ

昭和五十年度主な試験研究課題

特別研究員 村田武久

本年度においては、①採卵鶏の多羽飼育に対応した管理環境の改善、②飼料の節減と新飼料資源の開発利用、③卵用資源の開発と肉質改善、④公害対策としての鶏ふん処理等に重点をおいて、試験調査を実施する。つぎに主な試験課題についてその概要を説明する。

一、産卵鶏に対する高溫時の送風効果及び一日における適正な送風時期

前年度の試験結果では、高溫時の送風

は体重・飼料摂取量の減少を防ぎ、産卵率・産卵量の低下を防止するのに効果で、風速は秒速〇・五m程度がすぐれた成績を示し、秒速一・〇mあるいは二・〇mは必要ないと考えられた。そこで本年度においては、混飼と別飼いにおいて、出荷日齢の差異（七／一〇週齢）が生産性に及ぼす影響を検討する。

一、産卵鶏に対する高溫時の送風効果及び一日における適正な送風時期

前年度においては、高溫時の送風

は体重・飼料摂取量の減少を防ぎ、産卵率・産卵量の低下を防止するのに効果で、風速は秒速〇・五m程度がすぐれた成績を示し、秒速一・〇mあるいは二・〇mは必要ないと考えられた。そこで本年度においては、混飼と別飼いにおいて、出荷日齢の差異（七／一〇週齢）が生産性に及ぼす影響を検討する。

一、産卵鶏に対する高溫時の送風効果及び一日における適正な送風時期

前年度においては、高溫時の送風

は体重・飼料摂取量の減少を防ぎ、産卵率・産卵量の低下を防止するのに効果で、風速は秒速〇・五m程度がすぐれた成績を示し、秒速一・〇mあるいは二・〇mは必要ないと考えられた。そこで本年度においては、混飼と別飼いにおいて、出荷日齢の差異（七／一〇週齢）が生産性に及ぼす影響を検討する。

一、産卵鶏に対する高溫時の送風効果及び一日における適正な送風時期

前年度においては、高溫時の送風

飼養関係

一、採卵鶏の育成飼料給与技術と産卵制御に関する試験

二、微生物による新蛋白質飼料等資源開発に関する総合研究

三、未利用飼料資源の活用に関する試験

微生物による新蛋白質飼料（細菌・酵母）は粗蛋白質に富み飼料資源としての利用が期待されるので、養鶏飼料としての利用価値及び安全性について検討する。

飼料用穀類のひっ迫に對して、未利用飼料資源の活用は非常に重要である。そこで前年度においては、養鶏飼料の主体

フレーク飼料

○ 肥育牛・乳牛用に抜群
○ とうもろこしを蒸煮し澱粉をアルファ化
した肥育牛、乳牛の新しい飼料です。

中國物産株式会社
笠岡市笠岡 TEL 08656 (3)-1110

二、低温における風速の影響及びカロリー代謝民間のウインドウレス鶏舎における実態調査においては、冬期の最大風速は、一秒速〇・三～〇・四五mが測定されたが、適正な風速についてはまだ明確されていないので、風速と温度との関連について、産卵鶏の生産性を中心検討する。

つぎに、低温における温度と風速を組み合せ、カロリー代謝との関係を、呼気ガス分析装置を使用して測定し、産卵鶏における冬期の改善対策の資料を得る。

三、ウインドウレス鶏舎における換気量の終日一定と昼夜変動

前年度においては、換気方式（陽圧・陰圧）と収容密度を組み合せて終日一定の換気量により試験を実施したところ、収容密度を多くすると、一羽当たりの換気量が一定であっても、舎内温度は夏期一定期とも高くなり換気量を増加する必要のあることを認めた。また一方、民間においては終日一定の換気方式はとらず、舎内温度の変化に伴つて換気量を変化させる方式をとっている。そこで本年度は換気方式（陽圧・陰圧）と換気量（昼夜一定と昼夜変動）を組み合せて、各季節別の適正な換気法について検討する。

四、開放鶏舎における夏期の送風効果民間の開放鶏舎においては、夏期の高温時には鶏舎周囲ができるだけ開放し、

養と泌乳能力の優劣が子牛に大きな影響を与えていた。このことから子牛の発育は生後三ヶ月令までの発育が、その後の成長に及ぼす影響は大である。又生時体重と発育の相関関係は、二五%程度であると言わわれている。

四
七

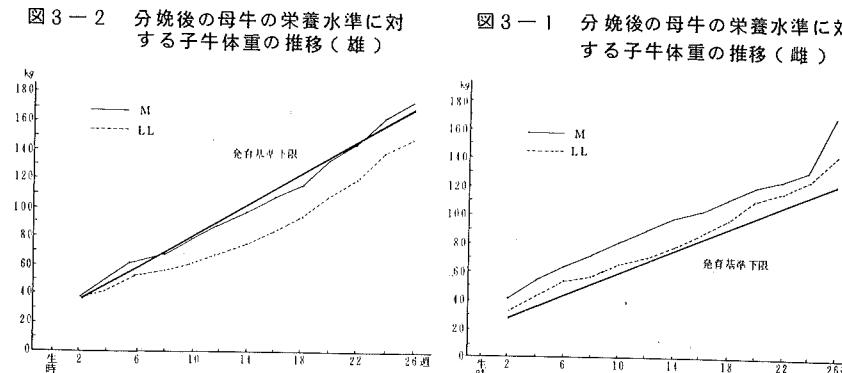


図3-2 分娩後の母牛の栄養水準に対する子牛体重の推移(雄)

地域の代表的慣用餌料を、背景に黒毛和種成雌牛の栄養水準およびバターンを決定し、分娩前一四週（三ヶ月）から分娩後二六週（六カ月）こわたり、

三年間試験を実施した。

分娩後における体重の推移でLL区において二〇%近い減少を示していること、繁殖成績でも栄養不足による不受胎牛を認めたこと、又子牛の発育でも個体差はあるが、L区、M区を下廻つていていることを考えれば、分娩後を低水準で飼養することは問題である。しかし、H区では過肥となり、不受胎牛が現われたことはあまり高水準での飼養にも問題がある。本試験の結果から分娩後は、一〇〇%の水準が適度な栄養状態である。

そこで三年次は分娩前の給与飼料の下限を求める必要からL、L区をもうけて実施したが、L区において回帰体重を大きく下廻つた。繁殖牛は繁殖サイクルで個体を維持できる範囲で飼料給与を考えるべきで、年々体重が下降したり過肥となる飼養方式はさけなければならぬ。三年間の結果を総合的にみれば、分娩前を日本飼養標に対しても八〇%，分娩後を一〇〇%で飼養する方式をほぼ設定でき得た。

繁殖牛は粗飼料を主体とした、飼料給与の形態が經營上理想的であるも、我国の状態では、最近特に粗飼料の大量入手が困難となり、むしろ粗飼料をできるだけ多くして同養する方策がとられる。

妊娠期(90日)(TDN3.75k, DCP0.41k, DM6.25k)(体重400kg)

	1日当り	T D N	D C P	D M	年間必要量
稻 わ ら	3.0 k	1.12 k	-k	2.64 k	3.0 k × 90日 = 270 k
サイレージ	2.00	2.40	0.32	4.60	2.00 × 90 = 1,800
乾 草	0.5	0.25	0.03	0.42	0.5 × 90日 = 45
		3.77	0.35	7.66	自給率 100%

	3.77	0.35	7.66	自給率	100%
例2 濃厚飼料	1.0	0.68	0.12	0.84	$1.0 \times 90 = 90$
稻わら	3.0	1.12	—	2.64	$3.0 \times 90 = 270$
サイレージ	16.0	1.95	0.26	3.60	$16.0 \times 90 = 1,440$
	22.5	2.82	0.60	4.00	—

攝乳期(120日)/TBH57.81- DGP06.01- DM06.01- (休眠40.01-)

幼犬(120日)、TDN5.78kcal、DCP0.62kcal、DM9.60kg)(体重400kg)					
	1日当	T D N	D C P	D M	年間必要量
濃厚飼料	3.0 k	2.00 k	0.36 k	2.55 k	3.0 k × 120 日 = 360 k
穀 わら	3.0	1.12	-	2.62	3.0 × 120 = 360
サイレージ	2.20	2.64	0.35	4.18	2.20 × 120 = 2,640
	5.76	0.71	0.25		高粱米 2,640

維持期(16周)(TDN 0.91, DGP 0.93, DM 1.07)と併用(1.01, 1.03)

	1日当り	T	D	N	D	C	P	D	M	年間必要量
稻わら	3.0k		1.12k		-k		2.64k		3.0k × 155日 =	465k
サイレージ	14.0		1.68		0.22		2.66		14.0 × 155 =	2170
		2.80	0.22		5.20		2.80		自給率	100%

放牧草高の差が

研究員 吉田幸正

寒地型牧草の平衡生産については、先
きに報載されていますが、寒地型牧草の
性質上春から初夏にかけて、いわゆるス
プリングフラッシュを起します。このス

多くなります。このような放牧草地の生産は低下する一方であり、荒廃し更新しなければならない状態へとつながって行きます。

この試験は場内の標高五〇〇米、表土はクロボク、下層は黄褐色の礫の多い赤土の所で、一九六五年秋造成された混播

され一応の成果が得られています。この

草地を一区面積八〇〇 m^2 の二連制で行な

施肥設計で、放牧時の草高の差によりもつと平準化はできないものだろうか。これは特に機械導入のむづかしい草地での維持管理の上でも必要なことです。つまり春から初夏にかけてのスプリングフラッシュを十分利用し切れなかつた場合に出恵し牛の食付になつて草地へ土方な

タリーバリの六種混播で、この草地において入牧時の草高を一五

表1 放牧状况

試験区	放牧回数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
	月	日	422	5.9	528	615	7.7	725	8.17	830	1026	
15cm 頭 数	102	64	64	62	4.9	6.1	7.0	4.0	6.4	573		
	月	日	425	524	7.3	727	918	1029	—	—	—	
30cm 頭 数	8.9	11.6	8.8	6.6	6.5	4.1	—	—	—	—	463	

表3 生墓生産量

放牧回数、放牧した月、日、放牧頭数	は表1に示したとおりです。	施肥月日と	施肥量は表2のとおりです。	は入牧前の坪	刈で推定した	数字で表3に	示しました。
表2 施肥月日と量 kg/10a	施肥月日と量 kg/10a	施肥月日と量 kg/10a	施肥月日と量 kg/10a	施肥月日と量 kg/10a	施肥月日と量 kg/10a	施肥月日と量 kg/10a	施肥月日と量 kg/10a
年間	年間	年間	年間	年間	年間	年間	年間
半	月日	N	EO ₄	K ₂ O			
10	3,903				10		
38	—					8	
28	181					5	
33	3,882					9	
6.6	—					4	
19	178						28
							18
							28

表4 放牧利用状況									
区分 放牧 回数	放牧 月日	延続日数 放牧	入牧時 現存量kg	退牧時 現存量kg	推定採食 量kg	推定採食 率/kg/day	利用率 不食過 漬草地率%		
							日	月	年
15 cm 区	1	422~425	10.2	559	151	408	4.00	72.9	7.4
	2	5.9~511	6.4	411	242	162	2.53	39.4	14.1
	3	528~530	6.0	542	296	246	3.84	45.3	21.7
	4	615~617	6.2	681	384	297	4.79	49.0	37.9
	5	7.7~7.9	4.9	301	112	189	3.85	62.7	11.2
	6	724~727	6.1	337	164	173	2.84	51.3	12.2
	7	817~820	7.0	414	172	242	3.46	58.4	23.0
	8	830~831	4.0	226	104	122	3.05	53.9	18.3
	9	1026~1029	6.4	432	180	252	3.84	58.3	27.8
計 平均			57.6 (6.4)	3,903 (4,337)	1,805 (2,006)	2,091	(358)	(54.7)	(19.2)
30 cm 区	1	425~428	8.9	806	487	319	3.58	39.6	25.8
	2	524~523	11.6	915	490	425	3.66	46.4	23.9
	3	7.3~7.7	8.8	778	296	482	5.47	61.9	18.6
	4	727~730	6.6	427	167	260	3.94	60.8	15.7
	5	918~920	6.5	539	279	260	4.00	48.2	22.1
	6	1029~1031	4.1	417	261	156	3.80	37.4	26.5
	計 平均		46.5 (7.7)	3,882 (6,470)	1,980 (3,300)	1,902	(407)	(49.1)	(22.1)

- 13 -

- 12 -

この表から年間の牧養力は、一アール当たり、一五cm入牧区で一三四、二GP たります。

1

この草地へ黒毛和種成雌牛を放牧した利用状況を表4に示しました。

延放牧頭数(一頭五〇〇kg体重に換算)を見ると年間一〇アール当たり、一五cm入牧区で五七・六頭、三〇cm入牧区で四六・五頭となり一五cm入牧区が一〇頭以上多く放牧できたことになり、低草高で利用した方が良いことを示しています。

推定採食量は入牧時の坪刈収量から退牧時の坪刈量を差引いたもので示していますが、ほとんど差はありません。一頭当たりの推定採食量は平均で見ても一五cm入牧区の方が三〇cm入牧区より少なくなっています。これは放牧試験の難しい例の一つで今後検討されるべき点と思いまます。

表5 牧 群 力

試験区	項目	放牧回数									合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
15cm 区	GPU/10a	162	161	182	216	94	127	139	89	172	1342
	GPU/10a/day	59	101	96	12	043	071	060	074	029	082
30cm 区	GPU/10a	284	312	207	133	187	145	—	—	—	1268
	GPU/10a/day	92	100	052	026	036	035	—	—	—	058

草地の植生状況は表6に示しました。これをおもに目視で前半五三・七%、ますと一五cm入牧区で三〇cm入牧区で六三・三%と一五cm入牧区の方が平均した牧養力であつたことを示しています。

表 6 植生状況
植物開始時の植生状況

	15 cm 区				30 cm 区			
	草高cm	被度比	頻度比	SDRs	草高cm	被度比	頻度比	SDRs
ペレニアルライグラス	161	192	11.5	39.1	298	234	71	38.5
オーチャードグラス	186	100	100	39.1	100	100	100	100
トルフェスク(ky 31F)	172	332	364	54	326	156	262	41.9
レンドトヅブ	9.9	157	135	27.5	209	242	135	30.3
ケンタッキーブルーリグス	14.4	61	11.4	31.6	18.0	60	8.8	30.3
ホワイトクローバー(NZ)	9.4	73	62	21.3	160	54	9.5	28.8
野草	14.0	141	114	35.5	184	153	100	27.1

	15 cm 区				30 cm 区			
	草高cm	被度比	頻度比	SDR ₃	草高cm	被度比	頻度比	SDR ₃
ペレニアルライグラス	7.0	9	27.6	28.7	9.5	41	23	41.8
オーチャードグラス	16	100	100	100	163	100	100	100
トルーレスク(ky 31F)	121	454	60	603	11.4	520	584	60
レッドトープ	9.6	12.7	261	32.9	11.0	14.5	24.6	35.5
ケンタッキーブルーグラス		1.8	61					
ホワイトクローバー(NZ)	42	3.6	292	19.6	4.6	62	30.7	41.2
野草	11.6	23.6	24.6	402	121	670	461	49.1



益風人

三

病虫害の防除

一、貝殻虫、錦虫

これらの害虫は越冬するので、晩秋に強力な殺虫剤の散布が必要である。

オン・マラソンでよいが秋はマシン油噴霧剤、二月から三月にかけては石灰散布剤の散布が必要である。

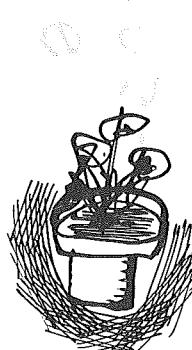
僅かの盆樹の場合は、貝殻虫、綿虫についていたら、歯ブラシなどで取りのぞけばよい。

冬期間の石灰流黃合剤の濃度は一〇〇三の者五点六%といふ。

二
ダ
ニ
類

ダニは樹木によつて種類のちがつたダニがつく。

ツツジ類は月に二回、松類、雜木類は月に一回殺虫作業を行う。



牛乳の20%増産の秘訣は

蚊・蠅のいない好環境から

■本品はピレトリンだけを含有、問題になったDDT, BHC, ドリン等の塩素系薬剤は一切含んでおりません。従って牛の健康をそこなわすしかも牛乳中にも毒性が検出されません。

お求めは所属の組合へ

DAIRY

豐年菜品商會

大阪市住吉区東加賀屋町 3-5-2
電話 大阪 06(671) 5662 (代表
郵便番号 55



近代農業化のための建築を

(株)石津建築設計事務所

岡山市天瀬南町3-9 TEL22-7023

ホルスタインの

種雄牛について(一)

岡山種雄牛センター

卷之三

日本の乳牛（ホルスタイン）の改良について考える時、酪農先進国である、アメリカ、カナダの影響なしには考えられません。戦後、これらの国へ輸入され

○頭近い数になると思われます。これらの中には、期待された程の成果を上げ得なかつたものもあるでしようが、その多くの輸入種雄牛が、日本の乳牛改良に、大きく貢献したのは事実でありましょう。

最近になって、わが国の、気候、風土、あるいは、わが国の経営基盤に見合つた乳牛を作り出そうとする気運がもり上り、種雄牛の後代検定事業や、めす牛の牛群検定事業をはじめとして、より効果の高い乳牛を作り出そうとする試みが、全国的な規模で行われており、日本の乳牛改良が、新しい方向を求めて進み始めていますが、依然として、アメリカ、カナダの影響は、強く受け継がれ

牛センターの、オークリッジス・サイテーション・リンドン・（八八・五点）岡山種雄牛センターの、サイテーション・ガーラ・マークイス（八八・五点）がおり、北海道には、リンドンと全兄弟の、オーケリッジス・コントローラー、ブ

そこで、これら輸入種雄牛について考
えながら、現在、わが国で活躍している
種雄牛について、考えてみたいと思いま
す。

戦後の輸入牛

戦後、日本に輸入された種雄牛は、大きく分けて、三期、三系統に分類してよいでしょう。まず、戦後第一期に輸入されたのが、バブスト牧場に代表される、パーク系で日本の功劳牛、ディーン・ウオーカー・スカイラーク・ミソノの父、バブスト・ローマー・ディーン・ウオーカー・ラッドは、その代表的なものでしよう。次いで、第二期は、カーネーション牧場を主流とする、ガバナー系が、非常に多く、入っております。第三期になりますと、現在もふくめて、ラグ・アップル系の、全盛を迎えるわけです。

そこで、まず始めに、現在の種雄牛
ほぼ半数を占めている、ラグ・アップ
ヨ・ハナ・ラグ・アップル・バブストで
オール・アメリカンに、四回も選ばれ
おり、大変しつかりした、体型の持主
ある事が偶ばれます。この、ジョ・バナ
ラグ・アップル・バブストの子孫で、
在の日本に、大いにその影響を与えて
るのは、何といっても、ABC、リフ
クション・ソブリンでしよう。次いで
オスボンデール・アイバンホー、スプ
ングファーム・フォンド・ホープ等の
を、あげることができます。

(一) A B C の子孫

いる種牛を導いてみますと、必ず最初に、目に付くのが、家畜改良事業団、前橋種雄牛センターの、エー・ビューゼット・サウンド・ビンナックル（九二点）でしよう。この牛の母方は、四代連続エクセレントに輝き、母、ビューゼット・サウンド・エー・ビューエターは、三才、三六五日、三回搾乳で、一三〇〇キロを搾っており、能力、体型、ともに優れています。ローナフ・サイテーション・アールの息牛は、一般に、体型的には、斎一性が低く、むらが多いといわれていますが、この、ビンナックルの娘牛は、体型的にも、バラつきが少なくまとまりのよいものが多いようです。力面でも、目下、家畜改良事業団で、娘牛成績を集計中ですが、かなり、よい成績がでているようです。

この他に、ローナフ・サイテーション・アールの息牛としては、同じく前橋種雄牛センターの、エー・ビューゼット・サウンド・ビンナックル（九二点）で

な系統の種畜牛が輸入されていて、日本の乳牛にも、さまざまな系統が入り混り、単純に、パーク系とか、ガバナー系とか、ラグ・アップル系とか、いうふうに、分類しにくくなっているのが、現状です。

最近の日本で、舌屋して、重雄子とこの、ABC・リフレクション・ゾーンは、世纪の名牛、といわれており、昭和二年に、カナダで生れ、一二年に死亡しております。その息牛には、ローマンデール・リフレクション・マクイス、ローザク・サイテーション・マ

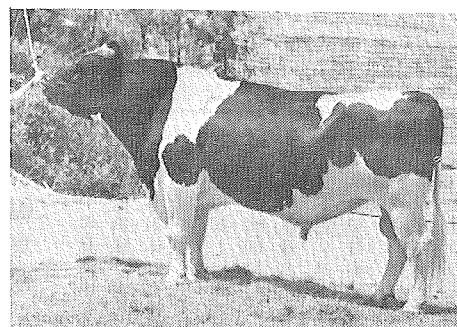
次に、ローマンデール・リフレクショ
ン・マークイスが、ショウに強いのは定
説のあるところで、マークイス自身も、定
一九五九年、六二年、六三年と、三度も
オール・カナディアンに選ばれ、その息
牛、娘牛も、数多く、オール・アメリカ
ン・オール・カナディアンに選ばれてお
ります。この、マークイスの息牛で、日
本で活躍しているのは、北海道の、ブレ
ステージ・オブ・レークハーストと、岡
山のコンテストでしよう。コンテストタ
ーについては、前号に、詳しく述べまし
たので、ここでは、省きますが、ちなみに
に、昨年のオール・アメリカン、昨年、
一昨年のオール・カナディアンに選ばれ
た、成年級牡牛、ゼルデンラスト・フォ
ンド・メモリーも、マークイスの息牛で
す。

この他にも、ABC、リフレクション、ソブリンの孫は、数多く、わが国で活躍しておりますが、誌面の都合もあり、次回に、ゆずらせていただきます。

種雄牛にはゆとりが欲しい。

実証すみの高能力と、ゆとりある好タイプの種雄牛です。

C-2 カーネーション テキサル アイバンホー EX-90.5



父 プロビン・マウンティン・アイバンホー・プライル

■ カーネーション サリ= えきサル リリ=

6才 365日 3回

乳量 10,903キロ 乳脂量 412キロ

すでに乳脂量1,000ポンド（約450キロ）を突破した娘牛もでております。

社団法人 家畜改良事業団

岡山種雄牛センター

本部 東京都中野区本町4丁目-38
TEL (03) 383-6181 (代)

岡山県久米郡久米町宮部下
TEL (086857) 2475・2476

暑中御見舞申し上げます

岡山県指定生乳生産者団体

岡山県酪農農業協同組合連合会

会長理事 花 尾 省 治

岡山市磨屋町 9番18—301号電話（岡山）22—2779



畜産農家の経営を豊かにし
地域の経営に合った配合を
原料高騰を防ぐ基金制度

供 給
全農、岡山県経済連、農協

製 造
岡山くみあい飼料KK水島工場
三興株式会社 神戸工場

（育す用、成鶏用、プロイラー、乳牛用、肉牛用、豚用）

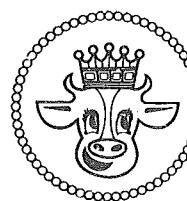
乳は国産 エサは全酪

団結は力！
系統利用は団結の象徴

最高の水準をゆく全酪連乳用子牛育成体系
(乳牛の飼料は専門の全酪連におまかせ下さい)

主要取扱品目

専管、増産ふすま。外国大麦飼料。
カーフトップ。脱粉飼料。カーフスター。
幼牛用、搾乳用配合飼料。
その他酪農用飼料資材全般。
市乳、バター、チーズ、練乳、粉乳。



日夜酪農民の利益増進に奉仕する酪農専門農協！
全国酪農業協同組合連合会

暑中御見舞申し上げます

きれいな生乳を出しましょう!!

岡山県酪連乳質改善協議会

編集室から

暑中お見舞申し上げます。

畜産農家は常多忙であります。くれぐれもお体にご留意願います。ようお祈り致します。

昭和五十年度畜産会重点指導目標は第一に自給飼料、組織的生産利用の強化、第二に家畜ふん尿の組織的処理利用の促進、第三に適正技術の標準化あります。これら目標に向って事業の推進をはかっておりますので、各関係機関のご指導ご協力をお願い申しますとともに各畜産課の皆さんの積極的なご支援をお願い致します。

これから畜産は農業全体で考え地域全体の中で計画実行されなければならることになりました。畜産人自身この点を再認識しなければならないと思います。

定 価	印 刷 所	発 行 所	岡 山 畜 産 便り	(七月号)
			第 二 六 卷	編 発 月
			昭 和 五 十 年 七 月	第六 部話じ山替話山人八十通号
			一一・市・・山市	五卷 第二百六十八号
			五代や丸岡岡	下上花日第發行
			〇表高の山山県石	二十二井原尾二号
			円速二八八畜二の茂省	四九印の五五共一
			送九印の五五料五刷一七七共一	一五五四喜治番所番番会五